

声援を背に受け記録に挑戦

市内全15小学校による体育大会が5月14日、東総運動場で開催されました。出場したのは記録更新や入賞を目指し、練習を積んできた小学校4年生以上の児童たち。100m走やハードル走、走り幅跳びなどの8種目で競い合いました。この日会場では、競技に臨んだ選手たちに、同級生や保護者などから大きな声援が送られていました。



①



②

①声援を受けて力走する選手たち
②声を掛け合っのバトンパス

幽学の里で米作り交流事業

かすりの着物で田植え体験

国 指定史跡の大原幽学ゆかりの水田で、米作りを通して都市住民と交流を図ろうと、毎年行われている米作り体験。その田植えが5月5日、6日に行われました。小雨交じりの中、泥に足を取られながらも次々と苗を植える子どもたち。「田植えは初めて。楽しい」などと笑顔で話していました。



苗を植える子どもたち

海上かあちゃん市

自慢の品々を持ち寄り22年



早朝から多くの人でにぎわう

海 上地域の農家の女性たちが集まり、旬の野菜や加工品などを販売する「海上かあちゃん市」。その設立22周年を記念した朝市が4月20日に開かれました。この日はタケノコや炊き込みご飯などが並んだほか、つくたての餅が無料で配られ、多くの人でにぎわっていました。

なお海上かあちゃん市は毎週日曜日の午前6時(冬期は6時30分)から、J A ちばみどり旧嚶鳴支店駐車場にて開かれています。

5/4 記録や栄冠目指して全力疾走



ゴールへまっしぐら

東総運動場で、第9回旭市民陸上競技大会が開催されました。この日は、小学生から大人までの「市民アスリート」が参加。家族や仲間たちからの「頑張ってー」「ラストスパート！」などの声援を受けて、自己の記録更新や入賞を目指す姿がありました。

5/4 復興への思いを込めてライブ



歌に合わせて踊る来場者も

東日本大震災からの復興を願う「海と大地の音楽祭」が、東総文化会館で開催されました。会場では、復興支援に駆け付けた出演者が歌や踊りなどを披露。来場者のリズムを取る姿などがありました。また「奇跡の一本松」で知られる、岩手県陸前高田市の「高田松原を守る会」会長の鈴木善久さんによる講演も行われました。

5/6 地域の魅力発信イベントが3回目の開催



商品を笑顔と一緒に

地域の特産品とそれらを使った料理、産業などを紹介し、人と人とのつながりを広げていこうとするイベント「VILLAGE」が袋公園で開催されました。開催は今回で3回目。バンドの演奏が流れる会場には、多くの出店ブースが並び、商品を買求める来場者の姿がありました。

5/18 名作「座頭市物語」は飯岡から



オリジナルの物語を芝居で

何度も映像化された座頭市物語。発祥地が飯岡だったことを広めようと「座頭市物語文学碑建立4周年前祭」が東総文化会館で開催され、講演や演劇などに多くの人が詰め掛けていました。なお物語は作者が飯岡を訪れた際に聞いた話が基だとされ、飯岡と記された原作の一節を刻んだ碑がおいしいおか荘にあります。

東部五市体育大会

4競技で優勝し、総合第3位



組み手争い(柔道)



打ち込むスマッシュ(卓球女子)

東部五市体育大会が5月18日、成田市を会場に開催されました。スポーツを通じて交流を図ろうと成田市、香取市、銚子市、匝瑳市、旭市の5市が開催しているこの大会。58回目を迎える今回は27競技(オープン競技を含む)が行われ、旭市はバレーボール(婦人)、バドミントン(男子)、グラウンドゴルフ、アーチェリーの4競技で優勝し、総合では第3位の成績を収めました。

ARTおどろく図工は土曜!

「今日は特別な土曜」駐車場に描画

工の楽しさを知ってもらおうと、子どもたちに「あ〜と驚く」創作体験を土曜日に発信——。その1回目の体験「チョーク・DE・アスファルトアート」が、中和小駐車場で5月17日に行われました。この日は「ここに好きな物を好きなだけ描いて」と、特別に駐車場をキャンバスに。カラーチョークを手に、子どもたちは「地面に絵を描くのは初めて。楽しい」などと話していました。



思い思いに描く参加者

なお次回の体験は、内容を変えて7月に開催予定。市内小学校などを通じての案内予定で、くわしい内容は干潟公民館(☎68-3111)まで。